

東京大学史料編纂所

史料編纂所は、日本前近代(古代～明治維新)史料の編纂を中心事業とする歴史学の研究所です。その淵源は、1793年に国学者塙保己一(はなわほきいち)が江戸幕府の援助を受けて開設した和学講談所にさかのぼります。史料編纂の基礎となる史料調査・収集は、1885(明治18)年から本格的に始まり、その蓄積の上に1901(明治34)年から史料集刊行が開始されました。以後100年余りの活動のなかで、『大日本史料』・『大日本古文書』・『大日本古記録』・『大日本近世史料』・『日本関係海外史料』などの書目名で刊行された基幹的史料集は総計1000冊を超え、国内外の日本史研究者に活用されています。

ミニ展示 幕末の風刺錦絵にみる天璋院篤姫

NHKテレビで放映中の大河ドラマ「篤姫」にちなんで、ミニ展示を開催します。史料編纂所が所蔵する画像史料のなかから、天璋院篤姫が登場する幕末の錦絵(多色刷りの木版画)をご紹介します。

開催日時 7月31日(木) 10:00～17:00

開催場所：史料編纂所1階ロビー

※事前申込等は不要です。ご自由にご覧ください。



維新前後諷刺画 二 徳用奥羽屋